

項目別評価

大項目 1. 試験検査機能の充実

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
2	0	1 (①)	1 (②)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・G20大阪サミット関連の食品衛生検査、麻しん・風しん検査への対応に加え、新型コロナウイルス検査では、極めて多くの検査に適切に対応したことを評価する。
- ・一方で、発生した検査上のミスについては、再発防止の徹底と検査業務のシステム化等を図り、検査機関としての信頼確保に努められたい。
- ・施設一元化に向け、引き続き、検査業務統一化を推進されたい。

大項目 2. 調査研究機能の充実

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2 (③④)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・競争的外部研究資金への応募件数は63件で数値目標（40件）を大きく上回っており、組織的な奨励・支援に継続的に取り組んだ成果が出ている。引き続き、競争的外部研究資金の獲得へ向けた、取組みの推進に期待する。
- ・大安研の特性や強みを活かし、学術分野や産業界と連携した受託研究や共同研究の推進に努められたい。

大項目 3. 研修及び感染症情報の収集等

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
2	0	1 (⑤)	1 (⑥)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・G20大阪サミットを契機として健康危機事象に備えた体制を構築したことを評価する。また、新型コロナウイルス感染症の発生に際し、専門的知見の提供を行った。
- ・感染症等に関する情報発信や、報道機関との定期的な連絡会の開催など、発信力強化に取り組んだ結果、メディアを通じた発信が過去最高件数となる等の成果に結び付いた。
- ・今後、新型コロナウイルス検査の結果や疫学情報の収集・解析を進め、行政機関のみならず、広く府民に対して、有用な情報提供を行うとともに、府民生活に関わる公衆衛生情報を適時発信し、大安研の認知度の向上に努められたい。

大項目 4. 地方衛生研究所の広域連携及び特に拡充すべき機能

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
4	0	2 (⑦⑧)	2 (⑨⑩)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・新型コロナウイルス感染症について、府・中核市保健所等からの依頼検査に迅速に対応するとともに、和歌山県等からの検査依頼に協力したことを評価する。
- ・今後、感染症分野における疫学解析研究の充実を図り、行政機関への有用な情報提供に努めるなど、西日本の地方衛生研究所における中核的な役割を果たすことに期待する。

大項目 5. 業務運営の改善

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
2	0	0	2 (⑪⑫)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・地方独立行政法人化のメリットを活かして、意思決定の迅速化を図り、森ノ宮・天王寺両センター間の連携を強化するなど、柔軟かつ機動的な法人運営に取り組まれたい。
- ・人事評価制度を構築し、令和2年度当初からの試行実施へ向けた取組みを進めた。職員の職務能力及び勤務意欲の向上のため、適正に個々の職員の勤務成績を評価できる制度の本格運用を図られたい。

大項目 6. 財務その他業務運営に関する重要事項

評価：A

小項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3 (⑬⑭⑮)	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・病原体や化学物質を扱うことを考慮し、引き続き、事故の防止やコンプライアンスの徹底に努められたい。
- ・統合効果を発揮して研究機能の更なる強化を図るためにも、一元化施設の整備を早期に進める必要がある。スケジュール通りに進むよう、法人が一丸となって取組みを進められたい。

全体評価

「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している。」

大項目 1	試験検査機能の充実	A 計画どおり
大項目 2	調査研究機能の充実	A 計画どおり
大項目 3	研修及び感染症情報の収集等	A 計画どおり
大項目 4	地方衛生研究所の広域連携及び特に拡充すべき機能	A 計画どおり
大項目 5	業務運営の改善	A 計画どおり
大項目 6	財務その他業務運営に関する重要事項	A 計画どおり

（評価にあたっての意見、指摘等）

- ・G20大阪サミットを契機とした健康危機事象に備えた体制構築、新型コロナウイルス感染症発生に際しての大量の検査への対応、情報発信、競争的外部資金の積極的な確保などの成果を挙げた。また、一元化施設の整備に向けた実施設計の策定や検査業務等の集約化など、一元化に向けた取組みも計画的に進められている。
- ・これらを踏まえ、令和元事業年度における取組みは「全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗している」と評価した。
- ・今後、施設整備についてはスケジュール通りに進むよう、法人一丸となって取り組むとともに、施設一元化後を見据えた業務統一化の取組みを進められたい。